



## 生活者と企業のパイプ役として

一般社団法人日本ヒューブ協議会

代表理事

川口 徳子氏

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今日、加速する超高齢社会の影響により、高齢者の消費者問題が課題となっており、企業の消費者対応にも変化が求められています。

このような中、「生活者と企業の双方を理解しつつ、新しい価値を創造し、生活者の利益および企業の健全な発展に寄与する」ことを使命とする当協議会が果たす役割はますます重要になると考えています。

二〇一五年度は、「社会の変化をとらえ、企業の中から社会へ―生活者視点で学び、考え、行動し、発信する―」をテーマに掲げ、企業の高齢者対

応の事例を研究して参りました。その研究成果は、生活者視点から横断的に新年度発行に向けて冊子にまとめられており、消費者・企業・行政のコミュニケーションツールとして情報発信を行う予定です。女性活躍推進法の施行に向け、当協議会への期待も高まる中、今後とも会員の更なる能力・資質向上を目指した活動や企業の相談窓口のレベルアップを目指したお客様対応基礎講座の開催、消費者市民社会の実現に向けた消費者教育の推進など、「生活者と企業のパイプ役」として、社会に貢献できるように一層努力して参ります。